

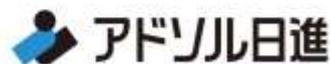


2019

2018.4.1～2018.9.30

2019年3月期 第2四半期

決算説明資料



代表取締役社長 上田富三

2018年11月20日

アドソル日進 社長の 上田 でございます。

本日は、ご多用な中、
「2019年 3月期 、 第2四半期 決算説明会 」に
お越し いただき、
まことに、ありがとうございます。

それでは、
お手元の スライドに 従いまして、
ご説明 申し上げます

2019年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2019年3月期 重点施策と業績見通し

新・中期経営計画 Vision2021

2

本日は、
ご覧の項目について、
ご説明 いたします。

まずは、
「2019年3月期 、 第2四半期 決算概要 」から、
ご説明 いたします。

最高売上・最高利益 更新!**上期
上方修正!**

売上高

59億30百万円 (前期比 + **9.9%**)

営業利益

5億25百万円 (前期比 **+30.5%**)

■ 通期業績予想に対する進捗率

売上高 : **51.5%**営業利益 : **59.7%**

※ ご参考 2019年3月期 業績予想 売上高：115億円／営業利益：8.8億円

3

2019年3月期 第2四半期、
業績の 総括です。

売上高は、「 9.9% 」増 の
「 59億 30 百万円 」、
営業利益は、
前期比「 30.5% 」増 の
「 5億 25百万円 」と
上期の、「 業績予想 修正値 」を
上回る 決算と なり、

最高売上と、最高利益 を 更新することが 出来ました。

「 通期 業績予想 」に対する「 進捗 」は、
特に、営業利益で「 約 6割 」と、
堅調に、推移して おります。

◆ **最高売上・最高益 更新!**

	2018/ 3期 2Q		2019/ 3期 2Q		前年同期比		
	実績	%	実績	構成比%	増減額	変動P	増減率%
(単位：百万円)							
売 上 高	5,397	-	5,930	-	533	-	9.9
売 上 総 利 益	1,266	23.5	1,447	24.4	180	0.9	14.3
販 売 管 理 費	863	16.0	922	15.5	58	△0.5	6.7
営 業 利 益	402	7.5	525	8.9	122	1.4	30.5
経 常 利 益	418	7.8	518	8.7	99	0.9	23.8
四 半 期 純 利 益	283	5.3	358	6.1	75	0.8	26.5
E P S (円)	31.3	-	39.7	-	8.4	-	26.8

4

損益計算書の 概要は、
ご覧の 通りです。

- ・ 「 売上 総利益 率 」は、
収益性の高い、ソリューション関連が 貢献し、
「 0.9 ポイント 」アップの、
「 24.4 % 」、
- ・ それに対して、「 販売 管理費 比率 」は、
「 0.5ポイント 」 減少し、
- ・ 「 営業 利益 率 」は、「 8.9 % 」と、
「 1.4 ポイント 」 アップしました。

今後も、ソリューション関連を 中心に、
「 収益性の 向上 」に、努めると 共に、
2020年 以降を 見据えた「 投資 」も、
しっかり、実施して 参りたいと 考えて おります。

◆ **先進インダストリー事業 好調！**

	期初予想		実績		期初予想比		
	見通し	%	実績	構成比%	増減額	変動P	増減率%
(単位：百万円)							
売上高	5,630	-	5,930	-	300	-	5.3
社会インフラ事業	3,510	62.3	3,481	58.7	△29	△3.6	△0.8
先進インダストリー事業	2,120	37.7	2,449	41.3	329	3.6	15.5
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	1,800	32.0	2,030	34.2	230	2.2	12.7
売上総利益	1,288	22.9	1,447	24.4	159	1.5	12.3
営業利益	420	7.5	525	8.9	105	1.4	25.0
経常利益	424	7.5	518	8.7	94	1.2	22.1
第2四半期純利益	288	5.1	358	6.1	70	1.0	24.3

5

続いて、「 期初 予想 比 」ですが、

「 社会 インフラ 事業 」は、
「 ほぼ 計画通り 」、

「 先進 インダストリー 事業 」は
先進EV等の、次世代自動車 等を中心に、
好調に 推移しました。

また、当社の「 IoT 」への 取り組み であります、
「 IoX 総合 エンジニアリング 事業 」では
セキュリティや 次世代自動車等を キーワードに
好調に、推移しました。

利益面に おいても、
期初予想を、上回る 決算 となりました。

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー（電力・ガス）拡大
- ◆ 先進インダストリー事業 : 次世代自動車（先進EV、自動運転）拡大
- ◆ IoX総合エンジニアリング事業 : IoT、セキュリティ堅調

(単位：百万円)	2018/3期2Q		2019/3期2Q		前年同期比		
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	変動P	増減率%
売上高	5,397	-	5,930	-	131	-	9.9
社会インフラ事業	3,492	64.7	3,481	58.7	△11	△6.0	△0.3
エネルギー	2,296	42.6	2,691	45.4	394	2.8	17.2
交通・運輸	708	13.1	438	7.4	△270	△5.8	△38.1
公共	125	2.3	37	0.6	△87	△1.7	△69.9
通信・ネットワーク	362	6.7	313	5.3	△48	△1.5	△13.3
先進インダストリー事業	1,904	35.3	2,449	41.3	544	6.1	28.6
制御システム	705	13.1	1,080	18.2	375	5.1	53.2
基盤システム	927	17.2	986	16.6	59	△0.5	6.3
ソリューション	271	5.0	381	6.4	110	1.4	40.7
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	1,751	32.4	2,030	34.2	279	1.8	15.9

セグメント別の概要は、ご覧の通りです。

「社会インフラ事業」では、
電力・ガスの「エネルギー分野」が、

また、
「先進インダストリー事業」では、
次世代自動車などの、
「制御システム分野」が、

それぞれ好調に推移しました。

それでは、次項以降で、
詳細の、ご説明をいたします。

受注状況

- エネルギー
 - 電力関連のベースロード化（自由化、分社化）
 - ガス関連拡大（自由化、設備関連、サービスシステム他）
- 交通・運輸
 - 宇宙関連は、計画通り推移
- 公共
 - 防災関連は、次案件の端境期
- 通信・ネットワーク
 - 次世代通信（5G）が、計画通り推移



まず、「社会 システム 事業」ですが、

- ・「エネルギー 分野」は、電力・ガスの、「自由化、分社化」や、「新サービスの創出」等、旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・「交通・運輸 分野」は、「宇宙関連」が、計画通り推移しました。
- ・「公共 分野」は、前期あった「防災関連」が終了し、減少しました。
- ・「通信・ネットワーク 分野」では、「次世代通信：5G」等が、計画通り推移しました。

結果、売上高は、前期並みの、「34億 81百万円」となりました。

受注残高は、電力関連での契約遅延により一時的に減少しました。

受注状況

- 制御システム
 - 次世代自動車（先進EV、自動運転等）関連への対応に注力
 - メディカル関連が堅調に推移
 - IoT関連（基盤関連）が拡大
- 基盤システム
 - 決済基盤システム（新規）拡大
- ソリューション
 - セキュリティ・コンサルティング関連が継続
 - LynxSECURE 採用（IoTシステム関連、公共ネットワーク）
 - 地理情報（GIS）が堅調



続いて、「先進インダストリー事業」ですが、

- ・「制御システム分野」では、先進EVや自動運転等の次世代自動車関連が拡大し、メディカル関連、IoT基盤関連等も堅調に推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、前期に新たに参画した「決済基盤システム関連」が、拡大しました。
- ・「ソリューション分野」では、コンサルティング・サービスが堅調に推移し、セキュリティ・ソリューションのLynxSECUREの、提供も、進みました。

以上の結果、
売上高は、

「28.6%増」の「24億49百万円」、

受注残高は、

「15.7%増」の、「10億89百万円」となりました。

受注状況

- IoTプラットフォーム関連 (AI活用!)
先進的なIoTデバイス制御関連 (次世代自動車等) 堅調に推移
- セキュリティ・ソリューション (コンサルティング、LynxSECURE) 堅調に推移

成長
ドライバー!



9

続いて、「IoX 総合 エンジニアリング 事業」です

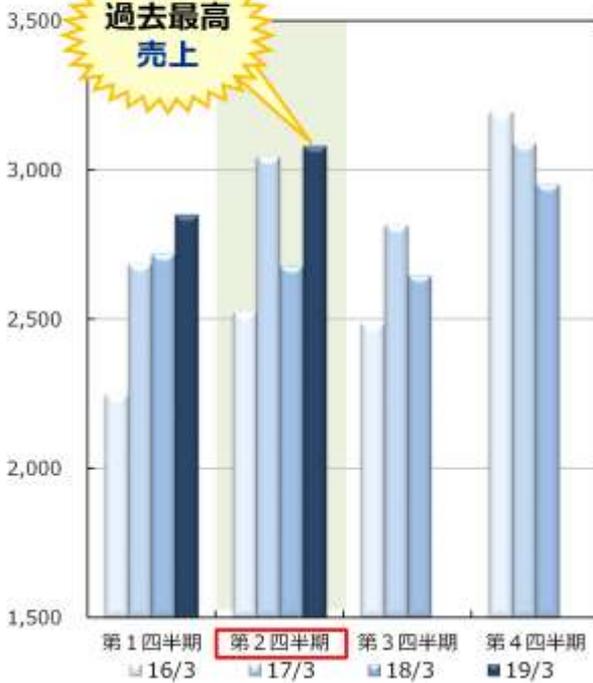
- ・「IoT関連」では、
「つながる車」等をテーマにした、
「次世代自動車関連」や、
「IoT・プラットフォーム関連」、「GIS(地理情報システム)」、
「EMS(エネルギー・マネジメント・システム)」等が
拡大しました。
- ・「セキュリティ関連」では、
「コンサルティング・サービス」が堅調に推移し、
また、セキュリティ・ソリューション:LynxSECUREが、
公共ネットワーク系に続き、採用されました。

以上の結果、売上高は、
「15.9%増」の「20億30百万円」となりました。

引き続き、IoTへの取り組みを推進し、
「Society5.0」の実現に、
貢献してまいります。

売上高

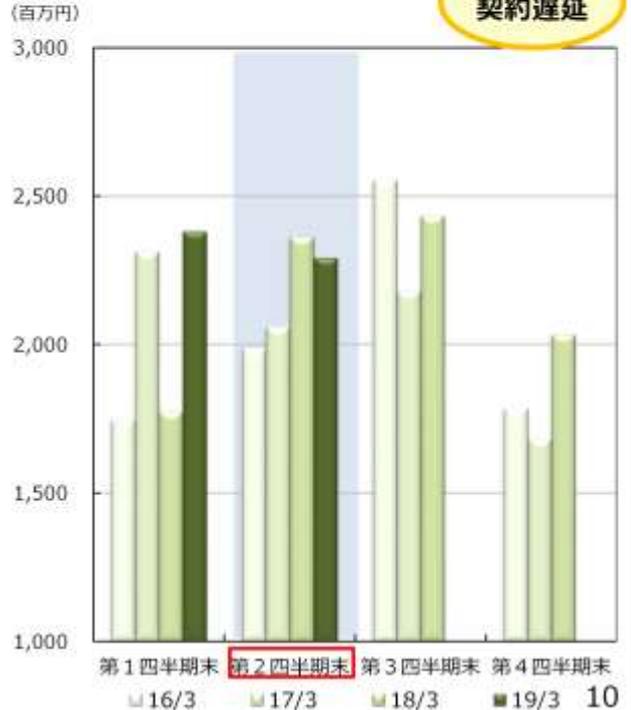
●エネルギー分野 拡大



受注残高

●受注残高 **23億円** 超過

契約遅延



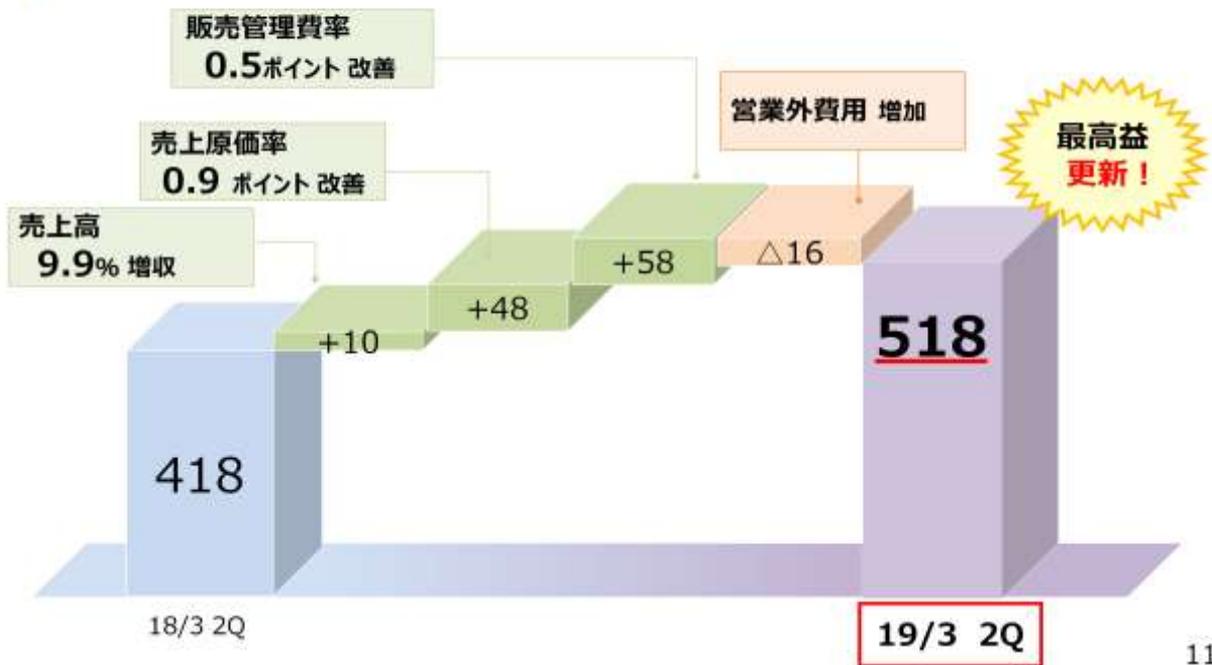
四半期毎の「売上高」と「受注残高」は、
ご覧の通りです。

第2四半期 単体でも、
過去最高の売上を、
更新することができました。

主な変動要因

■ 増益要因
■ 減益要因

(単位：百万円)



続いて、経常利益の分析です。

「増収効果」と、
「原価率」や「販管費率」の
改善等により、

「5億18百万円」と、「過去最高」を更新しました。

貸借対照表(前期末比較)

資産

● 総資産：**64億円** (2.9億円増)

(単位：百万円)

■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産

● 自己資本比率：**56.8%** (1.8%上昇)

(単位：百万円)

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



貸借対照表は、ご覧の通りです。

総資産は「64億円」と、前期末と比較し、「2億90百万円」増加しております。

自己資本比率は、「56.8%」と、健全な財務内容となっております。

2019年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2019年3月期 重点施策と業績見通し

新・中期経営計画 Vision2021

13

次に、
上期を 中心に、
当社の 取組みを ご紹介します。

「IoT時代のセキュリティ・フォーラム 2018」 4年連続

400名



プログラム

■キーノートスピーチ

arm

VP, Charlene A. Marini氏

XILINX

Director, Daniel Isaacs氏

■講演

LYNX SOFTWARE

VP, Arun Subbarao氏

アドソル日進

IoTシステム事業部長 片山 健児

■個別セッション

アドソル日進 / ラック社 / ニューテック社

概要

- ◆日時 2018年10月12日 12:00～18:00
- ◆会場 グランドプリンスホテル高輪 (東京都港区高輪 3-13-1)
- ◆主催 アドソル日進
- ◆協賛



展示会



アドソル日進 / ラック社 / ニューテック社 / たけびし社
 コニカミノルタ社 / パナソニック社 / ミツイワ社
 ウェブルート社 / GKI社 / Top Out Human Capital社

14

まず、本年「10月」には、「4年連続」となる、「IoT時代のセキュリティ・フォーラム 2018」を開催しました。

今回は、「欧・米」から、半導体の「アーム社」と「ザイリンクス社」で、「IoT」や、「セキュリティ」ビジネスを推進するお二方に、講演をいただきました。

また、「協賛各社様」からも最先端の「IoTセキュリティ」に関する講演や、展示をいただきました。

「400名」を超えるお客様をお迎えし、大変大きな反響を頂きました。

Lynx IoT 高機能 付帯

セキュア  ゲートウェイ



「隔離」と「遮断」で、
ITとOTを、安心・安全に接続！

介護分野

採用!



Lynx IoT 高機能 付帯

セキュア  アダプター



「工場」と「ITネットワーク」接続！
片方向通信で、IoT化を実現

工場のIoT



Lynx IoT 高機能 付帯

セキュア  ログサーバー



「工場」のリアルタイム・データと
ログ収集、
IoTと、AI分析で業務効率推進！データ保護！

IoT工場 生産効率化



15

それではここで、
この、フォーラムで、
当社が 展示 ・ ご紹介した
ソリューションの いくつかを
ご紹介 いたします。

いずれも、IoTシステムに 必要不可欠な
セキュリティを 兼ね備えた、
ソリューションです。

一番上の、「セキュア ゲートウェイ」が、
お客様の 介護分野の 製品で 採用される など、

「工場」や、「IoT」を キーワードにした、
採用や、PoC(実証実験)が、始まっています。

LynxSECURE 最新情報 2018.02
セキュア レガシー for Windows



「隔離」と「遮断」で、
 サポート切れ・レガシーOS 安全利用！

エネルギー企業

採用!



LynxSECURE 最新情報 2018.02
ARM 版 LynxSECURE



アームユーザー待望！
 Arm上で、Linuxと リアルタイムOS統合

**車載・重工業・
 エネルギー・
 ネットワーク**



SUN MAP GIS (地理情報システム)
 地図情報と、さまざまな情報の融合で
 見える化と、効率化を実現！

クラウド導入セキュリティ
RACCSS

特許！電界通信
 無線通信技術で高セキュリティ、
 ピンポイント認証！



Location Quoppa 位置検知システム
 無線通信技術で、人・モノの位置把握
 確認と、作業の無駄をカット！



テスト自動化！
 工数削減、ミスゼロ、品質UP！

次のページですが、

サポートが切れた 旧OS を
 安全に、 利用することができる
 「セキュア・レガシー」は、
 「大手 エネルギー 企業」様で、
 ご採用 頂きました。

また、「IoT 機器」で 大きな シェアを持つ
 Arm社の チップに対応した
 LynxSECURE も
 リリースして おります。

「フォーラム・セミナー・展示会」へ、積極的に参加

- ◆ RSA Conference 2018 
(2018/4/16~20 米国 サンフランシスコ)
- ◆ フードセーフティジャパン2018
(紀文フレッシュシステム社、2018/9/26~28 東京ビッグサイト)
- ◆ IoT World Conference 東京 2018 ~秋~
(2018/9/14 JPタワーホール)
- ◆ エンタープライズアジャイル勉強会セミナー
(2018/9/13 当社10F セミナールーム)
- ◆ JUASスクエア 2018
(2018/9/6~7 ハイアットリージェンシー東京)
- ◆ 地理情報システム学会 (IoT×GIS分科会)
(2018/6/29 当社 セミナールーム)



17

このフォーラムに加え、

提案活動の 強化として、

米国、サンフランシスコでの、
世界最大の セキュリティ専門 カンファレンスである、
「 RSA カンファレンス 」の ほか、

各種の フォーラム ・ セミナー ・ 展示会へ 参加し、

当社独自の
スマート・ソリューションや
セキュリティ・ソリューション の 訴求と、
当社ブランドの 向上を
図って おります。

◆ **包括契約締結**

- ・米国 Lynx 社の「**全製品**」
- ・国内総代理店 (**独占販売**)
- ・トータル・サポート
- ・ロングラン・サポート



IoT機器を守る

- **IoT機器ソリューション**
OS 選定、セキュリティ設計
- **ワンストップ**
企画・設計・開発・販売・保守




(2018年4月18日リリース)

アドソル日進
国内総代理店
独占販売

- メーカー、ベンダー
- オフィス、工場、病院
- IoTセキュリティ

LynxOS 7.0

LynxSECURE

LynxOS-178

LynxOS-SE

18

IoT、セキュリティへの 取組みとしては、
本年 4月に、
「IoT セキュリティ・サービス」を、更に 強化する為、
米国Lynx社と、

「セキュリティ・ソリューション :LynxSECURE」や、
「IoT機器 向け 組込みOS」等、
「全ての IoTソリューション」を、

当社が 日本国内で 独占提供する、
包括契約を 締結 しました。

- ・「オフィス」「工場」「病院」等の、
「IoT・セキュリティ」、
- ・「産業機器」「医療・介護 機器」等の
「デバイス・セキュリティ」、
- ・「重要インフラ」の
「ネットワーク・セキュリティ」等、
「IoT の セキュリティ」を、ワンストップで
ご提供して まいります

次世代IoT機器向け 組み込み「マルチコア制御システム」



・立命館大学：毛利研究室

国内最先端の研究 ⇒ オペレーティングシステム（OS）など、
「システムソフトウェア」「セキュリティ」「ネットワーク」分野

次世代IoT・デバイス



組み込み
マルチコア制御システム



(2018年9月：当社にて)

次世代の IoTシステム に向けた 取り組みとして、
本年 9月、
OSや セキュリティ等 で 最先端の 研究を されている
立命館大学の 「 毛利 研究室 」と、

次世代の IoT機器での 活用が 見込まれる
「 マルチコア 制御 システム 」の
産学連携 ・ 共同研究が スタートしました。

この研究では、
「 IoT機器に 搭載される CPUの 効率化 」の
実現に向け、
「 マルチコア 」を キーワードに、

「 IoT向け プラットフォーム 」の 研究・開発や、
「 IoT機器向け 組み込み システム 」に 関連する
「 次世代 技術 」を 探求し、

新たな強みや ソリューションの 創出を 目指します。

「最先端R&D：米国」「グローバル開発：中国 2拠点・ベトナム 3拠点」



グローバル戦略では、

米国、子会社の「サンノゼR&Dセンター」を通じて、
「IoT・セキュリティ」での、
最先端技術のキャッチアップと、
ビジネスへの展開を
図ってまいります。

また、
増加するICT需要に 応える ための、
開発体制を、
「中国 2拠点」、「ベトナム 3拠点」の、
「アセアン地域」で、確立して います。

ベトナム・ダナン拠点 リニューアル

住所：
02 Quang Trung, Thanh Thang Ward,
Hai Chau District, Da Nang City
VIETNAM ,
10thFloor, DaNang Software Park
ダナンソフトウェアパークビル 10F

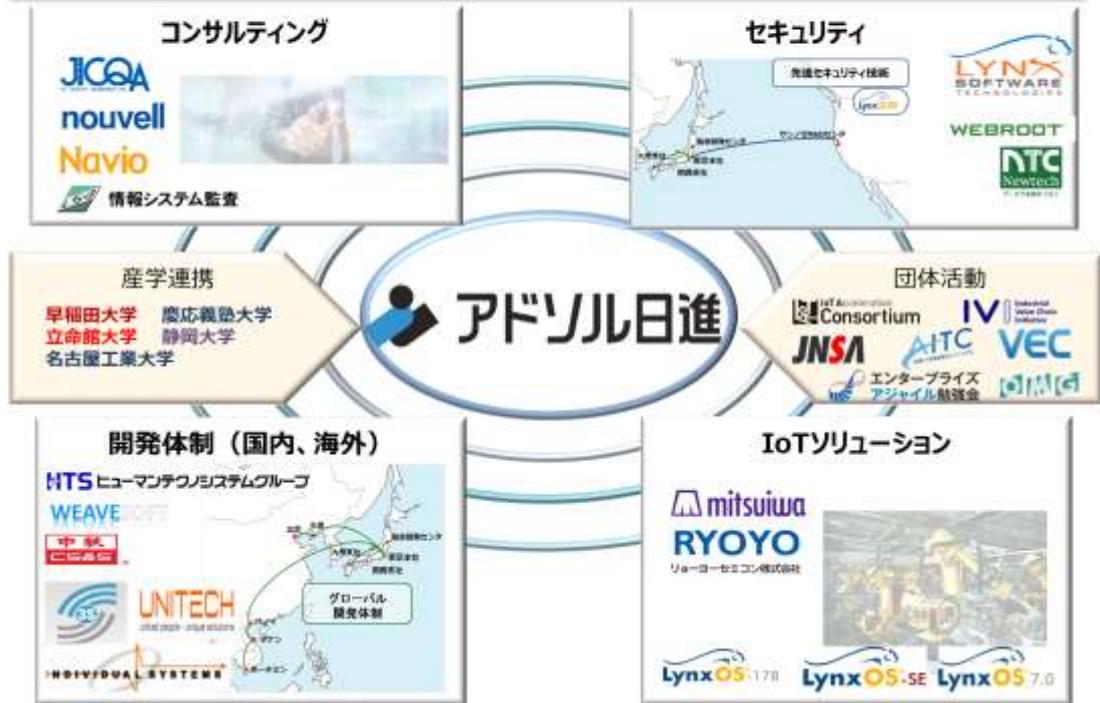
この 10月には、

「 グローバル 開発 体制 」の 拡充として、
ベトナムの、ダナン・オフィスを、
拡張・リニューアル しました。

2020年以降も、
堅調な ICT投資が 見込まれる一方で、
「 IT人材の 不足 」、 「 開発 動員力 」、
「 低 コスト 」などを
背景に、
グローバル開発の ニーズは、
ますます 高まるものと、 考えて おります。

今後も、開発体制の 強化に向け、
国内・外の、 開発 拠点の、
整備を 行っていく 方針です。

「上流工程」「高付加価値」へのアライアンス・連携



続いて、アライアンス戦略です。

「コンサルティング」、「セキュリティ」、
 「グローバル」、「IoT」
 をキーワードに、
 高度な 専門性を有する 企業との
 アライアンス戦略を 積極的に 推進して おります。

また、先ほどの 立命館大学との 共同研究の ように、
 産学連携や、
 先進領域での、団体活動、

米国 サンノゼ R&D センター を 通じた、
 最先端の 技術習得を 推進して おります。

ヒューマンテクノシステム・グループ 「 開発体制の強化・拡充 」



◆幅広いICT領域で協業！！

- ◆ エネルギー（電力・ガス） ◆ 医療関連 ◆ 組込みシステム関連
- ◆ 車載関連 ◆ 旅行関連 ◆ 航空関連 等

2020年以降の ICT投資対応

開発体制強化

協業ビジネスの推進

人材交流（品質、マネジメント力）

< 会社概要 >

- ・設立：1997年6月
- ・代表者：
代表取締役会長 菊池 文彬
代表取締役社長 田上 秀尚
- ・本社：福岡県福岡市
- ・拠点：東京、大阪、愛知、
熊本、神奈川、鹿児島
- ・グループ会社：5社
ヒューマンテクノシステム
ヒューマンテクノシステム東京
HTSエス、アイブイブ、HTSアット
- ・URL：<http://hits.kkhts.com/>
- ・事業概要：パッケージ開発・販売、
ソフトウェア開発・設計・製造
ソリューションサービス、
システムコンサルティング

本年 10月には、
「 ヒューマン テクノシステム ホールディングス 社 」
と、
「 資本・業務提携 」を 締結しました。

「 協業 ビジネス 」や 「 人材 交流 」等 を 通じて

2020年以降も、底堅い
ICT投資需要 への、
対応強化を、
図って まいります。

情報システム監査社「セキュリティ・コンサルティング分野」で協業



情報システム監査



アドソル日進

- ・ 「大企業・グループ会社（グローバル展開企業）」
「官公庁」向け、サービス展開
- ・ システム監査専門会社として創業（日本初）

・本社：大阪市淀川区
・代表取締役社長：三谷 康之



(2018年7月：当社にて)



24

また、
本年 7月には、
「情報 システム 監査」社と、

グローバル展開する 大手企業、グループ企業様や、
官公庁向けに

セキュリティ ・ コンサルティング ・ サービスの
提供と
サービス メニューの 開発で
提携 しました。

情報システム監査社と 共同した、
コンサルティングサービスの 提供も、
推進して 参ります。

ニューテック社と、「セキュア・シリーズ」搭載 大容量PC開発・販売

「セキュリティ対策」「業務の効率化」を両立！

2018年5月 販売開始！

☆新コンセプト製品☆

- ニューテック社が提供するパソコンに、
「セキュア・シリーズ」：セキュア・レスキュー」を搭載
- ・レガシーOSの継続利用
 - ・システムの拡充
 - ・ストレージの大容量化

レガシーOSを「隔離」
サイバー攻撃を「遮断」



- ハードウェア仕様：
CPU：Intel Core i3-6100 3.7GHz2C/4T
メモリ：8GB
OS用 SSD：64GB
データ用 HDD：2TB～10TB (RAID1)
外形寸法：W154 x D188 x H270
- ハードウェア保守：
セントバック3年
(オプションでオンサイト保守選択可能)
- セキュリティ対策：
セキュア・レスキューforレガシー

(2018年4月10日リリース)



- ◆株式会社ニューテック
- ・本社：東京都港区
- ・代表取締役社長：柳瀬博文
- ・東証ジャスダック

25

つづいて、製品展開 としまして、
本年4月には、ストレージ 専門メーカーの、
ニューテック社 と、

当社の セキュア シリーズ を搭載した
データを守る
大容量PC を 共同で開発し
販売を 開始しました。

今後も、
様々な 企業様と
オープン イノベーション による
新サービス・製品の 開発に
積極的に 取り組んで まいります。

IoT向け 近距離無線「LoRa」パケットキャプチャー 新発売

「LoRaWAN対応」「全17ch 同時確認可能」

2018年4月 販売開始！

国内初！

☆新製品☆

IoT向け製品の、開発企業様向け

製品開発では …… 安価・容易に、LoRa方式の認証・適合性を判断！

設置・利用では …… 無線の通信状況確認や、不具合特定に利用！



26

また、
IoTシステムに 必要不可欠な
無線通信 に関して

製品開発 と、IoTシステムの導入を
飛躍的に 効率化させる 製品を
この4月に 発売しました。

当社の コア・ソリューションの 一つである
「近距離 無線 通信」での
サービス拡充にも
引き続き 取り組んで まいります。

2019年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2019年3月期 重点施策と業績見通し

新・中期経営計画 Vision2021

27

続きまして、

今期、

2019年3月期の、
「重点施策」と「業績見通し」について、
ご説明いたします。

事業領域の拡大

社会インフラ事業

- 更新需要の取込み ⇒ 電力・ガス（事業再編・分社化、新規顧客獲得）
- 新領域の開拓・拡大 ⇒ 「宇宙システム」「5G（次世代通信）」「鉄道」

先進インダストリー事業

- ものづくりIoT化 ⇒ 「次世代EV自動車」「設備IoT」「医療・介護IoT」
- キャッシュレス ⇒ 「次世代決済・カード」

新たな価値の創造・提供に挑戦

IoX総合エンジニアリング事業

- セキュリティ ⇒ セキュア・IoTプラットフォームの開発・提供
（デバイス、ゲートウェイ、パッケージ）

競争優位の発揮

- グローバル開発体制の強化 ⇒ ベトナム・ダナン + 中国・大連
- 国内開発体制の拡充 ⇒ 大阪・福岡
- 産学連携・共同研究 ⇒ セキュリティ・GIS・マルチコア

まず、「事業領域」の「拡大」ですが、
「社会インフラ事業」では、
本格化する「分社化対応」で、
領域拡大を図ると共に、
電力分野での、「新規顧客開拓」を進めて参ります。

「先進インダストリー事業」では、
「次世代EV自動車」や、「自動運転」等の
最先端の取り組みを、
「お客様」と、共に、加速させて参ります。

「新たな価値の創造・提供に挑戦」では、
「半導体メーカー」「ハード・ベンダー」「メーカー」様との
「アライアンス」を進め、「当社独自」の
「セキュアIoTプラットフォーム」の進化と、
「早期市場投入」を計画しております。

競争優位の発揮では、
「国内・外」での、「開発体制の強化」に
積極的に取り組むと共に
「セキュリティ」、「GIS」、「組込みOS」等で、
「大学」との「共同研究」を推進してまいります。

◆ 9期連続の増益！（過去最高益更新！！）

	2018/3期		2019/3期		前年同期比		
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	変動P	増減率%
(単位：百万円)							
売上高	10,997	-	11,500	-	502	-	4.6
社会インフラ事業	6,858	62.4	7,050	61.3	192	△1.1	2.8
先進インダストリー事業	4,138	37.6	4,450	38.7	311	1.1	7.5
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,592	32.6	3,950	34.3	358	1.7	10.0
売上総利益	2,516	22.9	2,650	23.0	133	0.1	5.3
営業利益	832	7.6	880	7.7	47	0.1	5.7
経常利益	857	7.8	890	7.7	32	△0.1	3.8
当期純利益	553	5.0	564	4.9	11	△0.1	1.9

29

2019年3月期の、通期業績見通は、

売上高は 「 115億円 」、
 営業利益は 「 8億 80百万円 」、
 当期純利益は、「 5億 64百万円 」と、
 「 最高益の更新 」を見込んでおります。

「 IoX 総合エンジニアリング事業 」を
 成長ドライバーとして

引き続き、「社会インフラ 関連」の需要を
 しっかりと取り込むとともに

「先進インダストリー事業」での、
 ソリューション提供を伸ばし
 計画の達成に取り組んでまいります。

◆ 配当方針

- 配当性向 **35%**以上 (**2** ポイントUP)
- 配当計画 年 **2**回 (中間、期末)

◆ 配当予想

(単位：円)	2017/3期	2018/3期	2019/3期
中間	9 (※1)	10	11
期末	11	11	11
年間	20	21	22

(※1) 17/3 中間配当には、東京証券取引所第1部上場記念配当2円を含む。
2016/10/1付、株式分割1:2を実施。分割を考慮した配当金を表記。

30

続きまして、
配当で ございます。

配当性向は、「 35%以上 」、
株主配当は、「 中間 ・ 期末の 年2回 」と、
しております。

今期は、
「 上期、 11円 」、
「 下期、 11円 」と
増配を 予定しております。

※ ご参考

今期の 配当性向は、「 35.2% 」の 見込みです。

対象株主 & 時期

■ 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）

- 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
- 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQUOカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

● 保有期間特典

1年以上で QUOカード1枚（500円相当）を
年間 2枚 追加贈呈



■ 4,000株以上

- QUOカード(3,000円相当) 又は
- 「紀州梅ギフト」から
選べる株主優待カタログ を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

また、
「株主還元」として
「配当」に加え、

「保有株数」に応じた「優待制度」を設けており、
「梅ギフト」や「クオカード」を

年2回、
贈呈させていただきます。

2019年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2019年3月期 重点施策と業績見通し

新・中期経営計画 **Vision2021**

32

続いて、本年2月に公表しました
新・中期経営計画 Vision2021について
ご説明 致します。



中期経営計画

Vision2021





まず、「市場動向」及び「外部環境」の状況ですが、
「2020年」の「東京オリンピック・パラリンピック」を
一つの契機として、
ご覧の社会インフラは、
「次世代型」に向けて、現在、「移行・更新」が
始まって おります。

「政府」は、「Society 5, 0」を掲げ、
その 実現に 向け、動き出して おります。

「Society 5, 0」では、
「IoT」を 更に進化させ、
「人」「モノ」「サービス」など
「あらゆるもの」がつながります。



当社は「IoTトップランナー」を目指して
事業活動を行って参りました。

自動車や鉄道などの自動運転等、
IoTは急速に進化しており、
「人・モノ・サービス」が、つながる時代が始まっています。

当社には、

- 「特許」や、「先進的なIoTテクノロジー」、
 - 「サイバー・セキュリティ」
 - 「社会インフラを中心に、『40年以上』の実績」、
 - 更に、
 - 「複数の大学との共同研究」や、
 - 「米国サンノゼの子会社、R&Dセンターでの、先進的な研究」
 - 「アジア・アセアンでのグローバル開発」
 - 「半導体メーカー様等とのアライアンス」など、
- 差別化要素が多くあります。

これらを活用し、今後、
社会インフラや産業分野で、
超スマート社会の
実現に、貢献できると確信しております。

IoXで 未来をつなぐ ICTエンジニアリング企業

～ IoT リーディング カンパニー ～



36

「新・中期経営計画」の「メイン・コンセプト」は、「IoXで未来をつなぐICTエンジニアリング企業」です。

当社が培ってまいりました、「先進的なIoTテクノロジー」と、「革新的なサイバー・セキュリティ・ソリューション」を「コア」に、「IoT」の「リーディング・カンパニー」を目指して参ります。

2021年3月期の業績目標は、
売上高 「126億円、」
営業利益 「12億円」としました。

「最先端」の「研究開発」にしっかりと「投資」を行いつつ、「利益で成長する3か年」としたいと思います。

社会インフラ事業

領域拡大・拡充

「電力分社化（2020年）」
 「次世代通信・5G 商用化（2020年）」
 「ガス会社の分社化」「宇宙システム」「高度道路交通システム」

安定した収益確保

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」
 「航空」「公共・防災」「通信ネットワーク」

先進インダストリー事業

モノづくりのIoT化

「次世代EV自動車・自動運転」「IoT工場」
 「産業機器」「設備機器」「医療・介護機器」「ドローン」

アウトソーシング

「顧客製品を当社センターでフル・サポート」

キャッシュレス

「次世代決済システム」



続いて、事業戦略です。
 今期より、セグメントを、
 「社会インフラ事業」と「先進インダストリー事業」に
 再編しております。

社会インフラ事業では、
 「電力・ガス」の「分社化」、「5G・次世代通信」、
 「宇宙システム」、「高度道路交通システム」等を 中心に
 「事業領域」の 拡大 を 図ります。

先進インダストリー事業では、
 「先進EV自動車」や「自動運転」の 先進技術、
 IoT化が 進む 「工場」や、「医療」
 更に、「ドローン」等の、「成長市場」に、
 「ものづくりのIoT化」と共に、
 「サイバー・セキュリティ・ソリューション」で
 差別化を 図って まいります。



次に、成長戦略 を ご説明 いたします。

「 IoT システム 」では、
「 デバイス 」や「 近距離 無線」、
「 AI」、 「ビッグデータ」など、
様々な「 先進 技術 」が
必要 になります。

さらに、増加する サイバー攻撃 に向けて、
「 セキュリティ 対策 」が、
重要に なって まいります。

当社は、
「 先進 技術 」と
「 サイバー・セキュリティ 」を 武器に、
「 IoX 総合 エンジニアリング 事業 」を
ワンストップで 提供し、
「 社会 インフラ 」と
「 先進 インダストリー」の
事業を 拡大させて まいります

提携戦略

アドソル・グループ (資本提携、M&A、業務提携)



グローバル戦略

グローバル・デリバリー体制拡充 (アジア圏)



価値創造戦略

米サンノゼ R&D センター (先進テクノロジー)

大学・研究機関 (共同研究・実証実験)



技術戦略

AI・IoTプラットフォーム (クラウド活用)



資本政策

資本効率の向上 (EPS、株式流動比率)



コーポレート戦略

働き方改革、人事制度改革、業務改革



ESGへの取組み

テーマ：エネルギー、水、食糧、防災



その他の
重点戦略ですが、
M&Aや、AI、先進IoT技術、
更に、グローバル対応等、
様々な戦略にもしっかり取り組んでまいります。

また、当社は、環境にも配慮した事業運営を
推進して参ります。

ESG、
水や、エネルギー、防災等に関連する
情報システムの、研究や、開発にも
積極的に取り組んで参ります。

環境にも優しいアドソル日進を、
目指して参ります。

2021年3月期

配当性向 : 35 %以上 (+ 2 ポイントUP !!)

配当金 : 28 円 (+ 7 円)

E P S : 79 円 (+20 円)

2018/3期比



続いて、「利益還元方針」です。

ご覧の通り、

「2010年より」、

「連続増配」を「達成」して参りました。

「株主の皆さま」の「ご期待」に

お応えできるよう、

「今期より」、「配当性向」は、

「2ポイント・アップ」の「35%以上」とし、

「2021年3月期」まで、

「11期連続増配」を「達成」して参りたい

と思います。

また、

「2021年3月期」の「配当」は、

「2010年」と比べて、「12倍」となる、

「一株28円」を計画しております。

◆営業利益目標 **12億円 (44.2% アップ!)**

(単位：百万円)	2019/3期			2021/3期		
	計画	比率%	成長率%	計画	比率%	成長率%
売上高	11,500	-	4.6	12,600	-	14.6
社会インフラ事業	7,050	61.3	2.8	7,350	58.3	7.2
先進インダストリー事業	4,450	38.7	7.5	5,250	41.7	26.9
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,950	34.3	10.0	5,000	39.7	39.2
営業利益	880	7.7	5.7	1,200	9.5	44.2
経常利益	890	7.7	3.8	1,210	9.6	41.2
当期純利益	564	4.9	1.9	720	5.7	30.2
EPS (円)	62.4	-	1.8	79.7	-	29.7
ROE (%)	16.0	-	-	17.0	-	-
従業員数 (人)	533	-	7.0	600	-	20.4
配当金 (円)	22	-	4.8	28	-	33.3
配当性向 (%)	35.2	-	-	35.1	-	-

※成長率は、2018年3月期末比

41

最後に、経営指標は、ご覧通りです。

2021年 3月期の

「売上高」は、「14.6%増」の「126億円」、
「営業利益」は、「44.2%増」の「12億円」と、

「IoX 総合 エンジニアリング 事業」を
「成長ドライバー」に、
「利益」での「成長」を目指してまいります。

以上が、新・中期経営計画の、ご説明となります。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先

 **アドソル日進株式会社**

URL <http://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川9階、10階

TEL: 03-5796-3131 (代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL: 03-5796-3261

メール : ir@adniss.jp

以上で、
「 2019年3月期 第2四半期 」
決算の ご説明を 終わらせていただきます

ありがとうございました。



< 事業概要等の 資料になります。 >
< ご参照ください。 >

社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

通信・ネットワーク分野

次世代通信(5G)など、通信関連のICTシステム

先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システムなどの、基盤系ICTシステム

ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS(地理情報システム)等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業、と
先進インダストリー事業の
概要でございます。

IoX総合エンジニアリング事業

「安心・安全な超スマート社会（Society5.0）」の実現に向け、IoTサイバー・セキュリティ・ソリューションを中核に、AI・ビッグデータ・GIS（地理情報システム）・無線通信等の当社独自のソリューションを提供しています。

セキュリティ・ソリューション

- ・コンサルティングから、IoT機器向けセキュリティまでを、トータルで提供します。
- ・IoT機器向けセキュリティ・ソリューション：LynxSECURE（リンクスセキュア）
 - 生産工場をまるごと守る : SECURE FACTORY
 - オフィスを守る : SECURE RESCUE for Legacy
 - 建設現場を守る : SECURE RESCUE for USB
 - 病院・介護施設を守る : SECURE RESCUE for ClosedNET
- ・フィジカル・セキュリティ（人体通信） ・脆弱性診断サービス
- ・セキュリティ・コンサルティング・サービス（ガバナンス・コンプライアンス）
- ・ネットワーク・セキュリティ ・セキュリティ人材育成・教育サービス など

無線通信ソリューション

- ・IoTシステムに必要な不可欠な無線通信を総合的に提供します。
 - uLocation（屋内での位置検知システム）
 - uStack（近距離無線通信 LPWA、Nb-IoT、Zigbee®等）
 - tACCESS（独自特許の、電界通信システム）
 - uLook（電力などの見える化システム）など

GIS（地理情報システム）

- ・GIS（地理情報システム）の「コンサルティング」「システム開発」「PoC」「ソリューション」などをワンストップで提供します
- ・SUNMAP®ソリューション
 - SUNMAP for Crisis（BCPや危機管理支援）
 - SUNMAP for VRP（配送ルート計画支援）
 - SUNMAP for SER（商圏分析、マーケティング、現地調査ほか） など



IoX総合エンジニアリング事業の概要でございます。

(単位: 百万円)	2018/3期1Q		2018/3期2Q		2018/3期3Q		2018/3期4Q		2018/3期	
	実績	%	実績	%	実績	%	実績	%	実績	%
売上高	2,718	-	2,678	-	2,647	-	2,951	-	10,997	-
社会インフラ事業	1,822	67.0	1,670	62.4	1,656	62.6	1,695	57.4	6,845	62.2
エネルギー	1,119	41.2	1,176	43.9	1,195	45.2	1,270	43.0	4,763	43.3
交通・運輸	397	14.6	310	11.6	279	10.6	226	7.7	1,214	11.0
公共	83	3.1	42	1.6	33	1.3	82	2.8	241	2.2
通信・ネットワーク	220	8.1	141	5.3	146	5.5	116	3.9	625	5.7
先進インダストリー事業	896	33.0	1,007	37.6	991	37.4	1,256	42.6	4,151	37.8
制御システム	342	12.6	363	13.6	429	16.2	515	17.5	1,650	15.0
基盤システム	446	16.4	481	18.0	442	16.7	509	17.3	1,879	17.1
ソリューション	107	4.0	163	6.0	119	4.5	231	7.8	622	5.7
(内、IoX総合インテグレーション事業)	863	31.8	888	33.1	907	34.2	943	31.9	3,592	32.7

今期、2019年3月期 より
「社会インフラ事業」「先進インダストリー事業」に、
セグメント変更しております。

前期(2018年3月期)の
売上データを、新セグメントに
組み替えた 資料と なります。

ご参考ください。